



5月 26日(火) 【たし算】

+	2	0	7	4	9	1	6	3	5	8
4										
7										
2										
9										
0										
8										
3										
5										
1										
6										

名前

分

びょう

5月 26日(火) 【答え】

+	2	0	7	4	9	1	6	3	5	8
4	6	4	11	8	13	5	10	7	9	12
7	9	7	14	11	16	8	13	10	12	15
2	4	2	9	6	11	3	8	5	7	10
9	11	9	16	13	18	10	15	12	14	17
0	2	0	7	4	9	1	6	3	5	8
8	10	8	15	12	17	9	14	11	13	16
3	5	3	10	7	12	4	9	6	8	11
5	7	5	12	9	14	6	11	8	10	13
1	3	1	8	5	10	2	7	4	6	9
6	8	6	13	10	15	7	12	9	11	14

今日のじこひょうか  
色をぬりましょう



やったー  
花まる100点



OK  
花まる



とぼほ

めあて 1000-3けたのひっ算のしかたを考え、計算しよう。

★教科書53ページも見てください。

265 円のがようしを買うために、レジで  
1000円さつを出しました。おつりはいくらですか。

しき

答え \_\_\_\_\_

		1	0	0	0	
	—		2	6	5	

ヒント

①まず、一のくらの計算は0から5はひけないけれど、

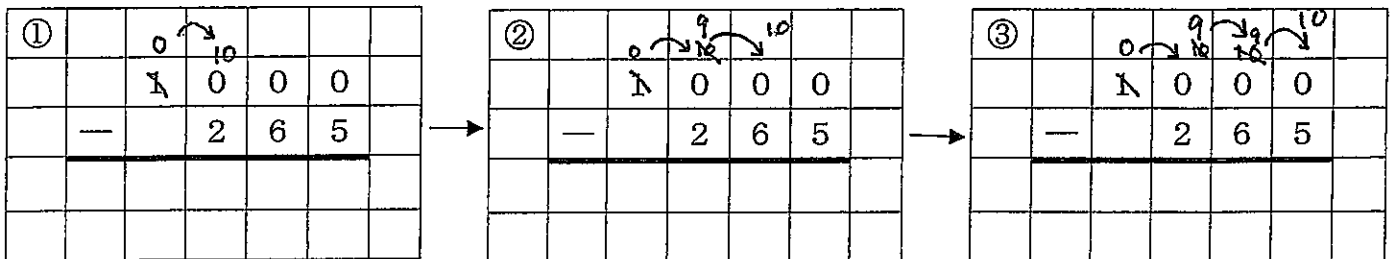
十のくらのからも百のくらのからもくり下げられないので、

はじめに ( ) のくらのから ( ) のくらのに ( ) くり下げる。

②つぎに ( ) のくらのから ( ) のくらのに ( ) くり下げる。

③つぎに ( ) のくらのから ( ) のくらのに ( ) くり下げる。

④一のくらのからじゅんばんに計算する。



2ページにれんしゅうもんだいがあります。ちょうせんしましょう。

さいごのページにこたえがのっているので、お家の人にまるつけをもらいましょう。

ふりかえり

(わかったこと、できたこと、むずかしかったことなどをかきましょう。)

①	1	0	0	0		②	1	0	0	0	
-		5	2	1		-		3	8	2	
③	1	0	0	0							
-			4	6							

答えが1000になるたしざんのしきを3つ つくりましょう。

①				+			=	10	00	
②				+			=	10	00	
③				+			=	10	00	

1 ページ目

$1000 - 265 = 735$  答え735円

ヒント

①まず、一のくらの計算は0から5はひけないけれど、

十のくらいからも百のくらいからもくり下げられないので、

はじめに ( 千 ) のくらいから ( 百 ) のくらいに ( 10 ) くり下げる。

②つぎに ( 百 ) のくらいから ( 十 ) のくらいに ( 10 ) くり下げる。

③つぎに ( 十 ) のくらいから ( 一 ) のくらいに ( 10 ) くり下げる。

④一のくらいからじゅんばんに計算する。

2 ページ目

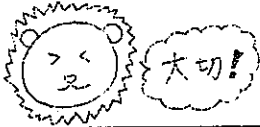
- ①479 ②618 ③954

3年生のみなさん、元気にごしていますか？

夜、家のまどを開けると、遠くでカエルの鳴き声がしてきました。

カエルの子どものころは何と言うか知っていますか？見たことはありますか？

せい長を見続けるとおもしろいですよ。



音楽のお勉強<sup>べんきょう</sup>をしますが、音楽のお勉強は声や音が出ます。

- ① 声を出す時はマスクをしたり、まどを開けて空気の入れかえをしたりしてください。
- ② お家の人や近所の人気がもちよくすごせるよう、気持ちを考えながらおべんきょうしてください。どのくらいか分からなかったら、小さな音で（心の中で…でもよいです）。

今回のめあては けんばんハーモニカとなかよくなるう!です。

まずは、手をあらって口をゆすいでください。けんばんハーモニカに「おひさしぶり！よろしくね！」と言って、さわってあげましょう。

① ゆびのおきかたで正しいのは、どちらでしょう？○をつけましょう。

1.



2.



② ゆびの番号を思い出しましょう。自分の右手の指をさしながら、「1・2・3・4・5、5・4・3・2・1・・・」と5回かくにんしましょう。（たくさんやってみてもいいですよ。）



③ では、上赤先生からのちょうせんじょうです！けんばんハーモニカの上にゆびをおいて、それぞれ5回ずつやってみましょう。

音を出せる人はやさしい音で。出せない人は、ゆびづかいだけでよいです。

ちょうせんすること	できたらチェック！
1. ドレミファソを1・2・3・4・5のじゅん番で5回。ソファミレドを5・4・3・2・1のじゅん番で5回。ゆびを動かしましょう。	
2. 8ページの下のしゃしんを見ながら、ミファ、ミファ、ミファ、ミファ、ミファと3→1のゆびのじゅん番で動かしましょう。名人は中ゆびの下に親ゆびをくぐらせるよ！	
3. 8ページを見ながらファミ、ファミ、ファミ、ファミ、ファミと1→3のゆびのじゅん番で動かしましょう。名人は親ゆびの上を中ゆびがまたぐよ！	

どうでしたか？教科書の9ページ右下にQRコードというものがついています。読みとれる機械をお家の人が持っているようだったら、つかってみてください。動きが分かります。

「むずかしかったな。」という人は、学校でもいっしょにれんしゅうしましょうね。「できたよ。」という人は、こんど、友だちにやさしく教えてあげてください。

10ページを開けてください。「こころのうた 春の小川」という曲があります。

「こころのうた」というのは、日本で長く歌われてきた歌のことです。お家の人も「知ってるよ！」とおっしゃるかもしれません。先生も小さいころ、音楽のじゅぎょうで歌ったり、きいたりしました。みなさんにも大切にしてもらいたい曲です。

「春の小川」の歌詞を11ページの絵を見ながら読んでみましょう。「どういう様子かな」と、そうぞうしながら読んでみてください。すみれやれんげなどが出てきたら、写真をゆびさしてみましょう。曲がきける人はきいてみてください。

※教育芸術社 自宅学習支援コンテンツ <https://textbook.kyogei.co.jp/library/>

「さけよ さけよ」は、お花同士が「さこうね！さこうよ！」とささやいているということです。

先生は小さいころ、ちょっとかんちがいをしていました。そのかんちがいのお話は、また学校でお話しますね。

先生は、春のあたたかいおひさまの下で、お花や川の生き物たちが春をよろこんでいるように歌えたらと思います。みなさんだったら、どんな風に歌いたいですか？

まとめの時間です。

今回は、けんぱんハーモニカとなかよくなれたでしょうか？今日がんばったことや次がんばりたいことを書きましょう。

---

先生に提出して下さい。よくがんばりました♪もうすぐみんなに会えるかな？

さいごに…

音楽名人は、楽器を大切にします。大切にケアをしましょう。

①けんぱんハーモニカをつかいました。水ぬきボタンをおして、いきおいよくフツといきを入れましょう。水てきがとれます。大切にしまってください。

②しっかり、うがい、手洗いをしましょう。

③まどを開けて、空気の入替えをしましょう。

